

くらし：家庭

給付型奨学金

授業料減免

76%の子が「充実を」

あすのば1500人調査

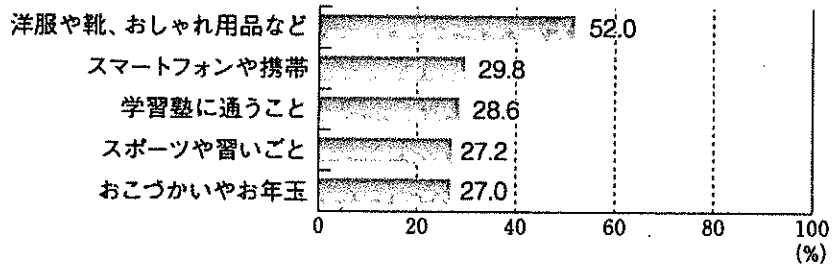
子どもの貧困対策センター・公益財団法人「あすのば」はこのほど、「子どもの生活と声15000人アンケート」の中間報告を公表しました。

同法人は15年度から経済的に困難を抱えて入学・新生活を迎えた子どもたちに「入学・新生活応援給付金」を届けています。同アンケートは、17年春に届けた15006人の子どもと保護者から回答を得ました。

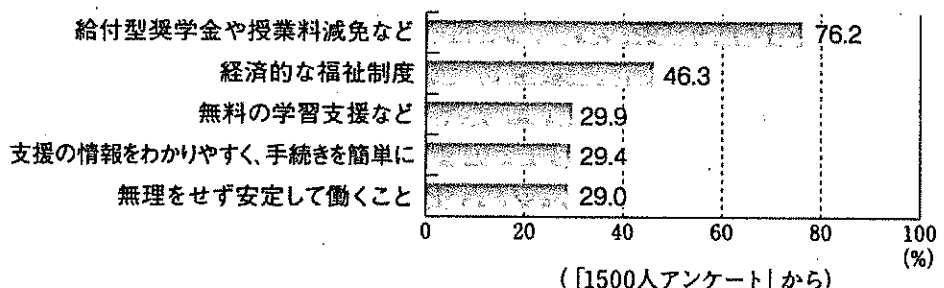
をがまんした(52・0%)、「スマートフォンや携帯を持つのをがまんした(29・8%)、「学習塾に通うことができなかった(28・6%)、「スポーツや習いごとなどができなかった(27・2%)」などの回答がありました。

また、改善や充実をしてほしい支援や制度では、「給付型奨学金や授業料減免など教育や進学の費用負担を減らしてほしい(76・2%)」、「安心して暮らすことのできる経済的な福祉制度が増えてほしい(46・3%)」、「無料の学習支援など勉強を教えてくれる支援が増えてほしい(29・9%)」

過去に経済的な理由であきらめたこと (複数回答)



特に改善や充実してほしい支援や制度 (同)



などでした。(グラフ) 結果を受けて同法人は、▽子どもの貧困を社会全体の課題とする▽貧困率の削減目標を示す▽義務教育の完全無償化や

高校の費用負担の軽減などを提言。「成立して5年を迎えようとする子どもの貧困対策法の見直し議論につなげたい」としています。